

# 働く女性1万人白書

10,000 Working Women's Report

## 選択肢が広がる現代女性の働き方・生き方

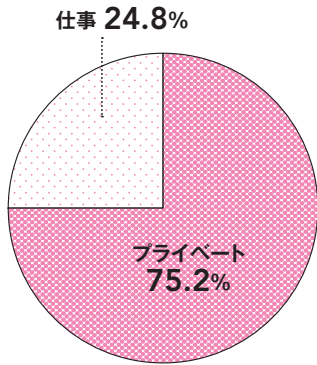
# キャリア志向や働き方は、“タブ化”している!

小学館女性メディアのポータルサイト“しごとなでしこ”と独自の調査機関である“しごとなでしこ総研”は、合同で日本の働く女性を対象に大規模なアンケートを行いました。全206問からなる質問は、ファッション、仕事、恋愛・結婚、住まいなど、女性に拘わる幅広い内容で、20代～60代までの10,600人以上の方がご協力くださいました。その結果、今を生きる女性達の傾向などを読み解くことができました。この「働く女性1万人白書」ではそのデータを元に10のキーワードに分けて、今とこれからを見ていきます。

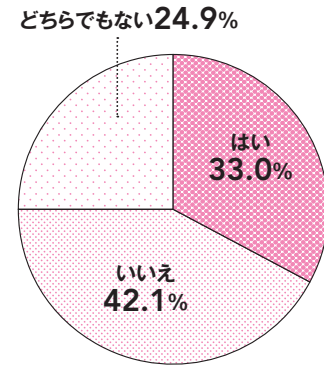
※なお、全206問のアンケートの答えは、しごとなでしこ総研のHP内から無料で閲覧することができます。

### 01 仕事かプライベートか

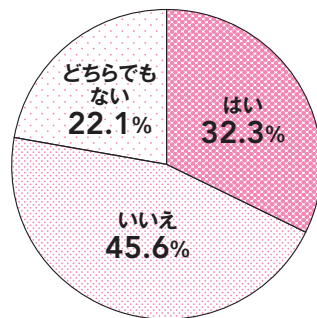
Q.48 仕事重視派  
プライベート重視派



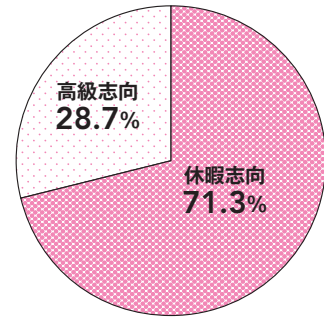
Q.155 仕事はやりがい重視で  
残業はいとわない



Q.172 今より収入が  
増えるなら、労働時間が  
増えてもかまわない



Q.175 休暇志向派  
高給志向派

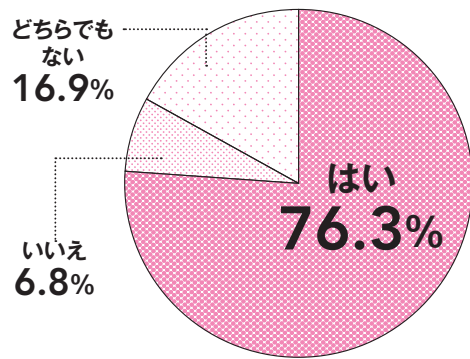


**考察** お金を稼ぐより、きちんとプライベートを守りたいという考えがより強くなっているのがわかる。一生懸命働けば働いた分だけ、沢山サラリーをもらえる、という時代でもない。会社に勤める際の心構えも、欧米のように「仕事帰りや週末の余暇を楽しむ為に一生懸命働く」という志向になりつつあるのかもしれない。

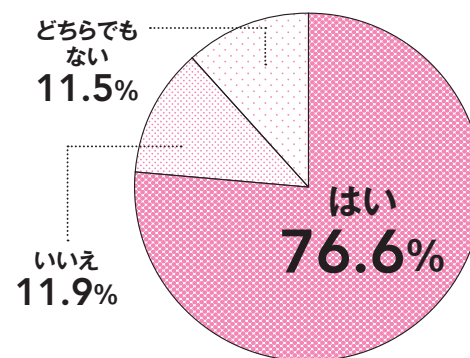
**Real Voice** 「スティックな女子は折れてしまうので、仕事を頑張り過ぎないようにしています。あまり根詰めず、そのときの状況で考えればいいと思っています」(IT関連会社勤務・30歳)

### 02 好きなことを仕事にしたいけど、ストレスばかり...

Q.170 好きなことを仕事にしたい



Q.90 ストレスを感じますか



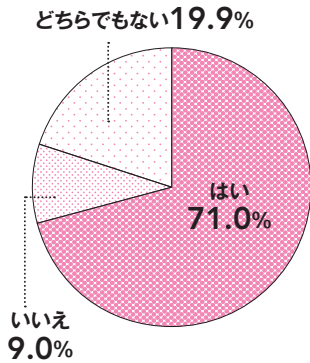
Q.91 ストレスを感じる理由は何ですか?



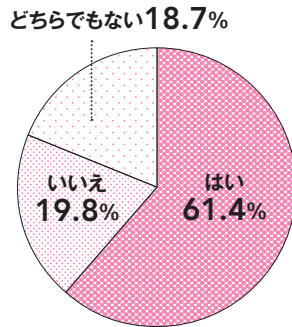
**考察** 働く女性の7割以上がストレスを感じていて、その理由の圧倒的1位は「職場の人間関係」。ということを加味すると、よりプライベートを重視するのは、その反動で自然なことなのかもしれない。

### 03 結婚と老後、働く女性のバランスの取り方

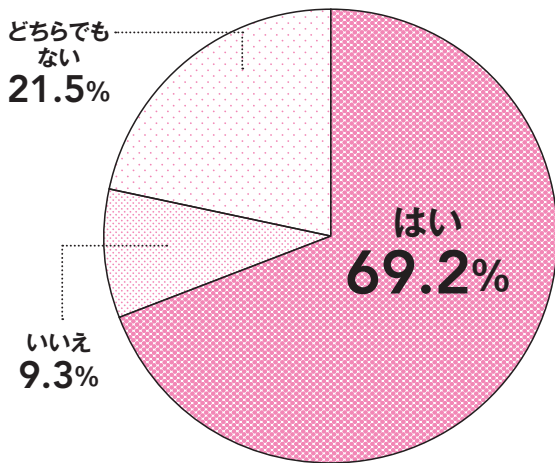
Q.161 結婚後も仕事を続けたい



Q.164 60歳をすぎても働かなければならないだろうと思う



Q.197 結婚・妊娠・出産を経ての仕事は続けたい



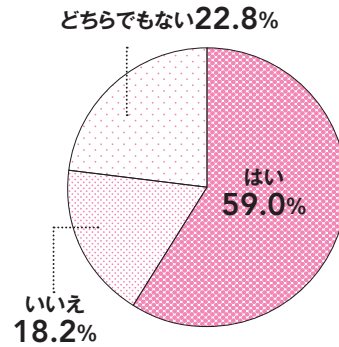
**考察** 仕事よりプライベートが大事でも、働きたくないわけじゃない。むしろ、働き続けたいとイケないと考えている。女性にとって、働く場が増え、期間も伸びているということだ。“〇〇だけ”（主婦だけ、1つの会社だけ）という考え方から変わりつつある。

**Real Voice**

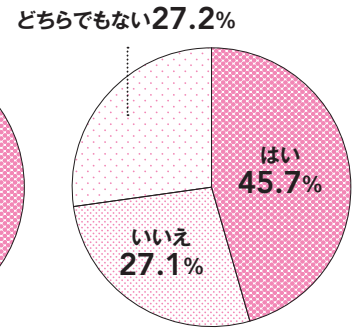
「子供ができて、今の仕事を続けたいです。昔から専業主婦になりたくないと思っていました。外の世界がないと、ストレス溜まりそう…。男の人は外で働いて、自分だけが家族の世話をするのは、ストレスになる気がする」(商社勤務・30歳)

### 04 2017年を生きる女性にとって、働くとは、働く場所とは

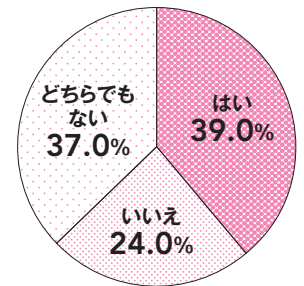
Q.171 基本的に仕事が好き



Q.169 今、自分の望む職業に就いていると思う

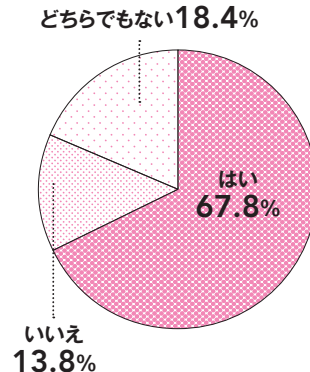


Q.167 同じ会社で仕事を続けたい

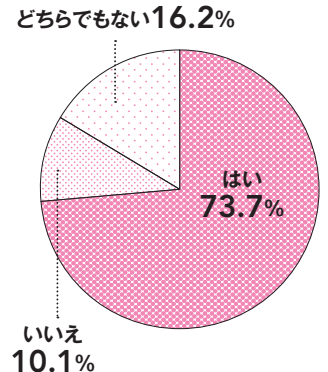


**考察** 仕事が好き(60%)で、自分の望む職場に就けていて(46%)、そこに居続けたいと思う人(40%)はどんどん少なくなる。仕事は好きだけど、仕事をする場所は限定していないことがわかる。

Q.158 やりたい仕事なら会社の規模や有名かどうかにかかわらず



Q.159 キャリアアップのためには、会社を変わっても構わないと思う



**考察** もはや、働く場所は重要ではない、好きな仕事・やりがいを感じられる仕事をするのが重要なのだ。



#### 分かったコトまとめ

#### “どこで働くか”ではなく“何をするか”へ

終身雇用の時代は終わった、公務員以外で本当に安定している会社なんてあるのか、年金はもらえない、60歳を過ぎても働き続けなければならない…。そんな不安がつきまとう21世紀の働き方事情。自分の好きなこと、もしくは辛い仕事をして、それなりに安定した暮らしを続けていこうという考え方が主流に。そのため、働く場所や会社にはこだわらず、次々と転職することを視野に入れたキャリアプラン

を立てる人が一般的になりそう。また、結婚したら専業主婦になるよりも、働いていたいという結果からも、何事も一本化するのではなく「マルチに考えたい」そんな時代なのだろう。だからこそ就職は、1本のレールに乗る電車ではなく、PC画面の中で複数の開かれたタブの中から一つを選びまた違うものもすぐに開けられる、そんな“タブ”化している。タブはいくつも開けておけるから安心して他のタブを開き、同行を観察し、良いものを選ぶようになっていく。もし合わなかったりだめだったと思ったら、また他のタブを開けばいいだけ。リスクも少ないのである。好きなことだけを、“安心”して開けられるのが今どきらしいタブの良さなのかもしれない。

#### 【これから予測される現象】

**エフォートレス・ワーカー**

頑張りすぎず、しなやかに働く女性が世の中を牽引していく時代に。ファッション用語としても定着した“エフォートレス”。働き方も同様になりそうだ。

**安安世代**

向上したり、お金持ちになったり、地位や名誉を得るよりも、安定・安心を何よりも大事にする時代。ぜひananで特集を（他社ですが）！